

第2弾 <8回シリーズ>

マンガで考えよう! ジェンダーギャップ

《問合せ》多様性推進・
ジェンダーギャップ対
策課 ☎21-9004

本市では、職場、家庭、地域、学校などを含めたまち全体のジェンダーギャップ(社会的・文化的な男女格差)の解消に向けた取組みを進めています。無意識の偏見や思い込みに気付いてもらうきっかけとなるよう、第2弾のマンガを連載します。※第2弾最終回です。第1弾は2021年度に連載。

第8話 ワーク・ライフ・バランス

仕事中に連絡を受け、発熱した子どもを保育園に迎えに行くことになった男性は…。



【作者紹介】かんべ みのり 日本で唯一のMBA(経営学修士)マンガ家として執筆業をメインに活動中。

20歳を迎える皆さんへ

「豊岡市はたちを祝う会」を開催します

今年度20歳を迎える方を対象に「豊岡市はたちを祝う会」を開催します。参加を希望する方は、参加者本人が豊岡市はたちを祝う会の公式LINEアカウントから申し込んでください。本市に住民登録がない方も参加可能です。なお、今年度から案内状の送付は行いません。

《問合せ》地域づくり課 ☎21-9096、メールtoyooocome@city.toyooka.lg.jp

2026年 1月11日(日)

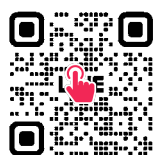
午後1時～2時

(受付開始 正午)

市民会館 文化ホール



▲市ホームページ



▲はたちを祝う会
公式LINE



地域おこし協力隊紹介 ～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介するシリーズ！

《問合せ》地域づくり課 ☎21-9096

神鍋観光のゲートウェイとして

私に協力隊として課されたミッションは「道の駅の活性化を通じて神鍋地域の観光を盛り上げる」というものでした。神鍋は関西屈指のスキー場として有名ですが、冬以外のシーズンは観光客が落ち込み、頼みの綱であるスキーも温暖化の影響で今後の行く末が危ぶまれています。神鍋には四季折々で違った一面を見せる神鍋山や神鍋溶岩流など、冬以外に楽しむことができる見所はたくさんあり、その玄関口となるのが道の駅「神鍋高原」です。近年は道の駅が観光の目的地になることも増えていて、魅力あるスポットとして発信していくことができれば、神鍋全体に波及していくと思っています。道の駅でさまざまなイベントや新しい企画を提案し、地域みなさんとともに盛り上げていきます。

もっと魅力的な道の駅に

道の駅「神鍋高原」は、今秋、大規模改修工

vol.51

道の駅「神鍋高原」

リニューアルプロジェクト

てらさき じゅん
寺崎 淳

奈良県奈良市出身。旅行会社の営業職、ホテルフロントなどの勤務を経て2024年4月から道の駅「神鍋高原」を拠点に地域おこし協力隊として活動



事が行われる予定です。売店・食事処を中心に、より身近で魅力あふれる道の駅にする予定ですので、新しく生まれ変わる道の駅を楽しみにしてください。改修工事中の営業情報については、ホームページやSNSなどで順次発信していきます。

第10回神鍋高原スイカまつり

記念すべき10回目となる「神鍋高原スイカまつり」を8月24日に開催します。近年は神鍋スイカの知名度も上がり、京阪神など遠方から買いに来られる方が増えました。まつり当日の混雑を避けるため、今年はまつりの前から「スイカウィーク」と題して重点販売を行い、まつり当日は毎年大好評の大食い大会のみを予定しています。神鍋スイカを食べて、豊岡の暑い夏を乗り切りましょう。



▲イベントにも力を入れています